

2010年度 第6回 理事会議事録

- 1、日 時：2011年3月17日（木） 19：00～21：10
- 2、場 所：（一社）神奈川県作業療法士会事務所
- 3、理事会定数 理事15名 代表理事1名
出席理事：渡邊、佐藤、錠内、浅井、奥原、木村、作田、鈴木、机、中西、野々垣、原、澤口
委任理事：富山、山路、野本
出席監事：なし 委任監事：清宮、長谷川
出席事務局員（書記）：名古屋 その他：松本(広報部)
- 4、議長団選任
議長：渡邊会長
副議長：佐藤副会長、錠内副会長
議事録署名人は会長、監事及び出席理事より1名選出しなければならない（定款より）、
議事録署名人：渡邊、錠内、木村
- 5、配布資料
各部
事務局理事会資料
財務部理事会資料
学術部理事会資料
教育部理事会資料
広報部理事会資料
福利部理事会資料
地域リハビリテーション部理事会資料
各委員会
ウェブサイト管理委員会
学会評議委員会
企画調整委員会
社会保障制度対策委員会
規約委員会
福祉用具委員会
その他
第13回神奈川県作業療法学会実行委員会資料
- 6、回覧資料
なし
- 7、検討事項
【会長】3月11日の東日本大震災の災害者、被災地に対し黙とうを宣言。理事会を開催する。
【第13回神奈川県作業療法学会】
（1）北里大学での4月17日（日）開催予定の県学会開催に対する検討
1）北里大学の受け入れ問題
三陸キャンパスの学部が相模原キャンパスへ移ってくる為、会場確保が困難
2）交通機関の問題
最寄りの公共交通機関の計画停電の影響
3）安全性の確保
4）参加者数の予測人数を下方修正による収入減 などにより、開催が困難な状況

中止とする。承認

- （2）中止に対しての対応
1）県士会ニュースの巻頭言の差し替え
渡邊会長から中止のお知らせをする
2）県士会HPで中止のお知らせを掲載する
3）発表予定者、講師予定者、共催団体などへの対応
渡邊会長および浅井大会長連名で公文書を発行

4) 協賛金、機器展示料、広告費は半額返金する

【第 3 回定期総会】

- (1) 県学会開催は中止とするが、総会は開催する必要がある 事務局で対応する
 - 1) 日時：5 月中旬に予定変更する
 - 2) 会場：60 人程度を確保でき、安全性のある場所を確保してから詳細化する

【平成 23 年度予算案】

- (1) 各部修正予算案によって予算案収支バランスのつり合いがとれたものを総会へ提出 理事メールにて承認をとる。以下、検討の結果決定した。
 - 1) 講師謝金規定は現行額を規定し、総会へ提出する
 - 2) 予備費が無い為、WFOT 積立金（現在 190 万円積立済み）より 50 万円を切り崩し、予備費に充てる
 - 3) 賛助会員収入で 3 万円を予算収入としてあげる

【選挙管理委員会】

- (1) 理事および幹事の立候補者は 3 月 4 日に〆切った
 - 1) 幹事に清宮良昭氏が立候補
 - 2) その他定数に不足する理事および幹事を理事会推薦する。 承認
 - 3) 即日、選挙公報を発行する

【ウェブサイト管理委員会】

- (1) レンタルサーバー移行作業について 承認
 - 1) レンタルサーバーはさくらインターネット ビジネスプラン 80GB
 - 2) ドメイン名の変更 kana-ot.jp
 - 3) 契約作業は作田理事が行う

【事務局】

- (1) 平成 23 年度第 54 回全国肢体不自由養護学校 PTA 連合会総会および PTA・校長会合同研究大会への広告掲載について
 - 1) 今年度座間養護学校校長に支払う講師謝金の受け入れ辞退に対して、先方より広告費として要望あり 5000 円を 承認
- (2) 県社協福祉人材課よりリンク依頼 昨年度も同様の内容で承認 本年度も 承認
- (3) 原稿料謝金規定（案） 廃案 現行を追認
- (4) 東日本大震災に伴う当面の事務局体制について
 - 1) 東日本大震災に伴う交通機関の乱れにより、事務局員は時差出勤 理事メールで体制を流す
 - 2) 当士会として団体災害保険が未加入 情報収集する

【その他】各部からの報告事項は理事 ML により持ち回り審議とした（震災の影響で本日終了時間以降の交通機関の乱れが予想されたため）

- (1) 事務局
 - 1) 渉外活動
 - ・ 賀詞交換会出席 県栄養士会（1/14）<渡邊会長> 県臨床衛生検査技師会（1/14）<錠内副会長> 県病院協会（1/19）<渡邊会長> 県放射線技師会（1/19）<佐藤副会長> 県看護協会（1/27）<錠内副会長>
 - ・ 群馬県作業療法士会創立 25 周年記念式典（2/26） 祝電
 - ・ 神奈川県医療専門職連合会総会（3/23） 震災のため中止
 - 2) 諸団体より周知依頼 即日 HP 等にて掲載
 - ・ NPO 法人 POTA（精神科作業療法協会）第 30 回作業療法研修会（3/26）
 - ・ 第 5 回プラザフェスタ（3/5）：県立労働プラザ
 - ・ NHK ハートフォーラム「リハビリ最新線脳損傷からの回復を目指す」（3/20）
 - ・ 第 28 回日本医学会総会（4/8～4/10）
 - 3) 委員派遣依頼
 - ・ 県社協より自助具制作ボランティア交流会（3/12）：コディネーターや自助具の役割や選択・制作の注意点について説明 福祉用具委員会部員（木下）を派遣
 - ・ 小田原市障害程度区分認定審査会委員（H23/4～H25/3）

鈴木孝治（国際医療福祉大学小田原保健医療学部）

- ・相模原市障害程度区分認定審査会委員 (H23/4～H25/3)

坂本豊、渡邊誠、湯浅まり（北里大学）、斎藤和夫（淵野辺総合病院）

- ・小田原市介護認定審査会委員 (H23/4～H25/3) 浅野恵、菅井京子（国府津病院）、佐藤良枝（曽我病院）
- ・障害者等IT利活用推進ネットワーク会議職員派遣（事務局：県社協県民推進部ともしび運動推進担当）
(H23/3～H25/2) 木村理事

4) OT協会関連

- ・WFOT第1回組織委員会(2/11)<澤口事務局長>
代表者会議場所の選定、WFOT大会参加費の検討、HPの検討など
次回、国内組織委員会が4/10 出席予定：佐藤副会長・澤口事務局長

(2) 教育部

- 1) 現職者選択研修報告（身障領域：2/26）参加者81名並びに現職者共通研修(3/6)
事例検討42名、事例報告46名の参加者
- 2) 認定SIG団体管理：年度末に活動報告提出の依頼を認定時しているが、提出のない団体があるため、管理方法を検討し、年度末あるいは年度初めに「活動報告と活動予定」の提出を求める。

(3) 学術部

- 1) 講習会報告（精神障害領域：2/22）受講者数：会員24名、会員外OT2名、計26名
- 2) 学術誌刊行報告：初刊号1750部発行。次回は来年1月予定。

(4) 広報部

- 1) ラジオ日本より「番組名：よこはま口ハス」の「すこやか介護」のコーナーにて出演依頼(3/24) 部員（酒井）にて対応
- 2) 新宿ヒナ横浜校（予備校）での作業療法啓発活動準備 現役作業療法士による職業紹介依頼(6/18) 部員（酒井）で対応
- 3) チラシの封入作業の変更について
・次年度より、各部からのチラシ封入依頼先を事務局に一本化し、すべての原稿を一括して第一資料印刷に依頼する。
- 4) 広報支援グッズ
・名前入りイベント用コート15着作成
・名前入り宣伝グッズ：ペットボトルオープナー（自助具）、エコバック、クリアファイル
- 5) 第9回介護支援専門員研究大会でのブース出展し、主に地域で関わる作業療法の活用方法や役割を関連職種である介護支援専門員へ啓発を行った。作業療法ガイドやオペラ13号及び県士会パンフを配布。

(5) 地域リハビリテーション部（木村理事）

- 1) 第7回地域リハ勉強会 神奈川PSW協会との合同開催を検討
テーマ：精神障害者の地域移行支援について（案）
日時：平成23年9月18日（日）
- 2) 「特別支援学校を中心としたカンミティン」の有効性を調査
モデル地域として県央（相模原市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）を予定。
- 3) 退部予定
・木村 達氏（鶴巻温泉病院）
・笹森郁子氏（いずみ介護老人保健施設）
- 4) 入部予定
・千田理美氏（相模原リハビリテーション病院）
・吉川雅子氏（神奈川県立茅ヶ崎養護学校）
・高橋茂喜氏（神奈川県立金沢養護学校）

(6) 学会評議委員会

- 1) 新しい学会「(仮称)神奈川県臨床作業療法大会」
 - ・第1回大会長は未定。継続審議。
 - ・開催時期：平成24年4月15日（日）もしくは22日（日）
 - ・会場：大ホール（収容500名以上）1会場
(内容：症例報告（県士会認定SIG及び個人）、県士会研究助成事業発表など）
講演会のみ一般公開とする。
症例報告は原則、依頼とし、通常の演題募集は行わない。

* 次回の理事会日時 未定

(震災の影響や次年度事業を行う上で支障のない開催時期を検討し、必要に応じ招集する)

会議終了時間 21 時 10 分

次回の理事会開催日時 理事会 未定 (メールで日時調整)

開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231 - 0011
神奈川県横浜市中区太田町4 - 45 第一国際ビル301
TEL / FAX 045 - 663 - 5997

議事録署名人	議長	印
	監事	印
	理事	印